

主要産地における平成30年産水稻の生育状況等について 第10報 (8月20日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部（平成30年8月21日）

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料（自治体、気象台等公表資料の抜粋）
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等（自治体等公表資料の抜粋） 平年に対する遅速等	
北海道		<p>(全道) 分けつ期の低温により茎数は少ないが、出穂は、平年並に迎えた。(北海道農政部 8月6日付)</p> <p>(空知) 出穂にばらつきが見られるが、生育は平年並である。(空知総合振興局 8月6日付)</p> <p>(石狩) 好天により生育は回復傾向である。(石狩総合振興局 8月6日付)</p> <p>(後志) 遅速日数・遅1(後志総合振興局 8月6日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並(胆振総合振興局 8月6日付)</p> <p>(日高) 低温・日照不足の影響により生育はやや遅れている(出穂時の天候が良好のため、生育の遅れが回復傾向にある)</p> <p>(日高総合振興局 8月6日付)</p> <p>(渡島) 7月4半旬以降の高温により生育の遅れを取り戻し、出穂は平年並となった。しかし、茎数は少なく平年の83%程度に止まっている。(渡島総合振興局 8月6日付)</p> <p>(檜山) 生育は平年並に推移している。(檜山振興局 8月6日付)</p> <p>(上川) 生育の遅速は、平年並となっている。(上川総合振興局 8月6日付)</p> <p>(留萌) 水稲は、高温、多照により生育は回復傾向である。(留萌振興局 8月6日付)</p> <p>(オホーツク) 生育期節は平年並み。(オホーツク総合振興局 8月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月18日～9月17日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込みだが、9月は前線や湿った気流の影響を受けやすく降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p>
青森		<p>(黒石) 「つがるロマン」の籾殻は、籾長、籾幅ともに平年並で、籾長×籾幅は平年比102%と平年並であった。 「青天の霹靂」の籾殻は、籾長、籾幅ともに平年並で、籾長×籾幅は平年比101%と平年並であった。 (十和田) 「まっしぐら」の籾殻は、籾長は平年をやや下回り、籾幅は平年並で、籾長×籾幅は平年比94%と小さかった。 (地独)青森県産業技術センター・農林総合研究所 8月20日付)</p> <p>・8月15日現在の水稻出穂状況は、県全体で100%で、県全体の出穂終わりは、平年並の8月12日であった。 (青森県 8月16日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月18日～9月17日】 東北地方の向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 東北地方の向こう3か月の気温は、平年並か高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込みだが、9月は前線や湿った空気の影響を受けやすく、降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>
岩手		<p>・8月9日現在、県全体で87%の水田で出穂したとみられる。地帯別の出穂割合は、北上川上流73%、北上川下流94%、東部67%、北部78%である。</p> <p>(生育) ・県全体の出穂始期(10%出穂)は7月31日頃(平年差:-3日)、出穂盛期(50%出穂)は8月3日頃(平年差:-3日)であった。出穂終期(90%出穂)は、平年より1日早い8月9日頃と推定される。 (岩手県 8月10日付)</p>	同上
宮城		<p>8月10日現在、62,027ha(水稲作付見込面積の96.2%)で出穂が確認され、本年の穂揃期(県作付見込面積の95%で出穂)は平年より2日早い8月9日となった。</p> <p>(生育) (宮城県 8月13日付)</p>	同上
秋田		<p>(仙北) 管内の出穂期は8月3日となり、平年より1日早い出穂。終期は8月10日で平年並。(8月17日付)</p> <p>(由利) 出穂進捗は、8月15日時点で99.4%(8月17日付)</p> <p>(秋田県 8月17日付)</p> <p>(生育)</p>	同上
山形		<p>(酒田・飽海) 生育診断書「はえぬき」(酒田市荻島)の出穂期は平年より1日早い8月3日、「つや姫」(酒田市漆管根)の出穂期は平年より1日早い8月9日で、管内の出穂盛期は平年より1日早い8月4日。 今年は出穂後の気温が高く、登熟が例年よりも早く進むことが想定される。(酒田農業技術普及課 8月17日付)</p> <p>(生育)</p>	同上
福島		<p>・農業総合センターの調査では、出穂期が平年より早まっている。 ・コンヒカリの草丈が伸びていますので倒伏に注意が必要。 ・病害虫は、斑点米カメムシ類、紋枯病の発生が多くなっている。 (福島県農林水産部 8月10日付)</p> <p>・斑点米カメムシ類発生が「多い」と予想される地域「南東北、北関東、近畿」 (農林水産省 8月8日付)</p> <p>(生育)</p>	同上

生育状況等		
茨城	<p>(水戸市 5月1日移植 7月30日現在) 主得葉数の展開からみた生育は「あきたこまち」2日早い。「コシヒカリ」3日早い。「ふくまる」3日早い。 (水戸市 5月10日移植 7月30日現在) 主得葉数の展開からみた生育は「コシヒカリ」1日早い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 8月12日付)</p> <p>(龍ヶ崎市 4月26日移植 8月6日現在) 主得葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」3日早い。「コシヒカリ」3日早い。「ふくまる」3日早い。 (龍ヶ崎市 5月7日移植 7月18日現在) 主得葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」平年並。「コシヒカリ」平年並。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 8月9日付)</p> <p>・斑点米カメムシ類発生が「多い」と予想される地域「南東北、北関東、近畿」 (農林水産省 8月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月18日～9月17日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 関東甲信地方では、8月25日頃からの1週間は、 気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁東京管区気象台)</p>
栃木	<p>・普通植の生育は平年より1～3日程度進んでいる。 ・早稲の収穫は早まる見込み。 ・イネ綿葉枯病が発生している (栃木県農政部長官技術課 8月8日付)</p> <p>(生育) ・斑点米カメムシ類発生が「多い」と予想される地域「南東北、北関東、近畿」 (農林水産省 8月8日付)</p>	同上
千葉	<p>(生育) ・7月以降、気温は高く推移しており、全体的に生育の進みはやや早くなっている。4月20日植えの「ふさおとめ」、「ふさこがね」、「コシヒカリ」の出穂期は3～4日程度早くなっている。 成熟期は早いところで「ふさおとめ」は8月10日頃から、「ふさこがね」は8月14日頃から、「コシヒカリ」は8月23日頃からと予測される。なお、「コシヒカリ」については、6月中旬の低温によって、出穂にバラつきが見られる。(千葉県 7月27日付)</p>	同上
新潟	<p>【8月20日現在の生育】 ・コシヒカリの出穂期は、県平均で平年より3日早い8月3日で、出穂期の葉色及び稈長は指標値「並」の状況。 ・こしひぶきの出穂期は、県平均で平年より1日早い7月26日。 (新潟県 8月20日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月18日～9月17日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北陸地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>
富山	<p>(コシヒカリ) 平年に比べて草丈はやや長く、茎数、葉齢、葉色は並みとなっている。幼穂形成期は平年より1日早い7月11日となった。 出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より1日早い8月2日頃と見込まれる。</p> <p>(生育) (てんこもり) 平年に比べて草丈はやや長く、茎数、葉色は並み、葉齢は0.4葉多くなっている。 幼穂形成期は、平年より3日早い7月11日となった。 出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より3日早い8月3日頃と見込まれる。 (富山県 7月17日付)</p>	同上
石川	<p>(出穂期) コシヒカリは、加賀地域では7月23日頃から出穂が見られており、7月24日～30日頃と予想され、平年に比べ3～4日程度早い。・能登地域では、現在(7/27)出穂が始まっている圃場も見られ、7月27～8月1日頃と予想され、平年4～8日程度早い。 ひやくまん穀は、既に走り穂の見られる圃場もあり、前年より1～2日早く、コシヒカリの出穂期より8～10日程度遅くなると予想される。(石川県農林総合研究センター 7月31日付)</p> <p>(生育)</p>	同上
福井	<p>【農試における出穂期以降の積算気温に基づく収穫期予想】 ・ハナエチゼン(5月2日植) 出穂期7月16日 積算気温86.0℃に到達する日8月15日 ・コシヒカリ(5月21日植) 出穂期7月29日 積算気温99.0℃に到達する日9月3日 上記は今後平年並の気温で経過することを前提に算出。今後の気象条件等で変動するので、これを目安に籾水分等を確認して刈取日を決定する。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月17日付)</p> <p>(生育)</p>	同上
長野	<p>豊科定点圃場(稚苗5月15日植)では「コシヒカリ」は8月2日に出穂期。平年より7日早く昨年より2日早。 現地の「コシヒカリ」は7月末から8月3日頃に出穂期を迎えた圃場が多く、全般に、昨年より早く出穂している。 現在、平坦地の早生種は登熟中～後期で、「コシヒカリ」は傾穂終期。 (松本農業改良普及センター技術係作物担当 8月15日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月18日～9月17日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 関東甲信地方では、8月25日頃からの1週間は、 気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁東京管区気象台)</p>
滋賀	<p>・斑点米カメムシ類発生が「多い」と予想される地域「南東北、北関東、近畿」 (農林水産省 8月8日付)</p> <p>・還元障害による生育抑制から回復傾向にあり、出穂期は「みずかがみ」で過去5年平均より1日遅く、「コシヒカリ」では1日早かった。県内ほ場の「みずかがみ」では、7月20日頃を中心に収穫期を迎えており、5月上旬移植の「コシヒカリ」では、7月24日時点で出穂始～出穂期となっている。 (滋賀県農業技術振興センター 7月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月18日～9月17日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>

生育状況等		
兵 庫	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点米カメムシ類発生が「多い」と予想される地域「南東北、北関東、近畿」(農林水産省 8月8日付) (全県共通) 葉齢の進展は平年並み。草丈は平年並み。茎数は少ない。 (県南部) 草丈が平年より長く、茎数は平年に比べて極早生種の「キヌヒカリ」では少なく、早生～中生の「きぬむすめ」、「ヒノヒカリ」では多い。 (県北部) 草丈は平年並で、茎数が多い。出穂は「コシヒカリ」で平年より早い。(兵庫県 7月27日付) 	同上
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> ・早生品種は、出穂が平年よりやや早く始まり、茎数は平年並～やや少ない。 ・中生・晩生品種は、分けつ盛期～幼穂形成期で、茎数は平年並～やや多くなっている。 ・このまま高温傾向が続くと、早生品種の成熟が早まると予想される。 <p>(岡山県農林水産総合センターほか 8月3日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月17日～9月18日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 中国地方の向こう3か月の平均した気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>
広 島		同上
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月18日～9月17日】 四国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 四国地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>
高 知	<p>(早期稲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂数はやや少なめであるが、登熟は良好で全般的に生育は順調である。極早生品種(南国そだち、よさ恋美人)の収穫がほぼ終了し、8月上旬よりコシヒカリの収穫が本格化する見込みである。 (普通期稲) ・生育は全般的に順調で、出穂は8月上旬～中旬頃になる見込みである。 <p>(作柄・生育)</p> <p>(高知県病害虫防除所 8月3日付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県、宮崎県及び鹿児島県の早期栽培の作柄は、一部で平成30年7月豪雨等の影響がみられるものの、田植期以降おおむね天候に恵まれたことから『平年並み』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付) 	同上
福 岡	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月25日現在における水稻の生育は、草丈は平年並で、茎数は農産部の夢つくしと元気つくしを除き、平年より9～19%多かった。主稈葉数は平年より0.6～1.9葉多く、生育は進んでいる。(福岡県 7月26日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月18日～9月17日】 九州北部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 九州北部地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>
熊 本		同上
宮 崎	<p>(作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県、宮崎県及び鹿児島県の早期栽培の作柄は、一部で平成30年7月豪雨等の影響がみられるものの、田植期以降おおむね天候に恵まれたことから『平年並み』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月18日～9月17日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>
鹿 児 島	<p>(作柄)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県、宮崎県及び鹿児島県の早期栽培の作柄は、一部で平成30年7月豪雨等の影響がみられるものの、田植期以降おおむね天候に恵まれたことから『平年並み』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付) 	同上

注1：国及び地方自治体、出先機関、JA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。

注2：更新箇所は赤字で示している。

注3：平成30年8月13日午前10時現在の情報の取り纏め。

参考・引用資料:

農作物の生育状況 8月1日現在(北海道 8月6日)、農作物生育状況 8月1日現在(北海道空知総合振興局 8月6日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道石狩振興局 8月6日)、農作物の生育状況 8月1日現在(北海道後志総合振興局 8月6日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道胆振総合振興局 8月6日)、農作物の生育状況 8月1日現在(北海道日高振興局 8月6日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道渡島総合振興局 8月6日)、農作物の生育状況 8月1日現在(北海道檜山振興局 8月6日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道上川総合振興局 8月6日)、農作物生育状況調査の概要 8月1日現在(北海道留萌振興局 8月6日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 8月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 8月6日)、
作況調査報告(稲穀調査)(青森県産業技術センター農林総合研究所 8月20日)、
8月15日現在水稲出穂状況(青森県 8月16日付)、
水稲の出穂状況(8月9日現在概況速報)について(岩手県 8月10日付)、
平成30年産水稲の出穂状況について(8月10日現在)(宮城県農林水産部 8月13日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 8月17日)、
酒田・飽海日本一米づくり情報 第8号(酒田農業技術普及課 8月17日)、
主要な農作物の生育情報 第5号(福島県農林水産部農業振興課 8月10日付)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 8月12日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 龍ヶ崎市 8月9日)、
平成30(2018)年度水稲生育診断予測事業速報No.6(栃木県農政部 8月8日)、
水稲の生育状況と当面の対策 第6報(千葉県農林水産部 7月27日付)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第9号)(新潟県農林水産部 8月20日)、
TACS情報第8号(富山県農業技術課広域普及指導センター 7月17日)
平成30年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-9号)(石川県農林総合研究センター 7月27日調査)、
稲作情報No.16(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月17日)、
平成30年作物技術普及情報 第12号(松本農業改良普及センター 8月12日付)、
平成30年度水稲生育診断情報No.4 滋賀県農業技術振興センター 7月27日付)、
平成30年度兵庫県農業気象技術情報第4号(8月情報)について(兵庫県農政環境部 7月27日付)、
高温による水稲の品質低下の防止について(岡山県農林水産総合センターほか 8月3日付)、
病害虫発生予察情報について(高知県病害虫防除所)(8月3日付)、
福岡県米麦大豆改善速報(福岡県 7月26日付)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(8月16日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(8月16日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(8月16日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(8月16日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(8月16日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(8月16日広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(8月16日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(8月16日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(8月16日鹿児島地方气象台)、
異常天候早期警戒情報(8月20日 14時30分 気象庁)、
北海道地方こう3か月の天候の見通し(7月25日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(7月25日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(7月25日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(7月25日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(7月25日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(7月25日広島地方气象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(7月25日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(7月25日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(7月25日鹿児島地方气象台)、

「平成30年度 病害虫発生予報第6号」の発表について(農林水産省 8月8日付)、
平成30年産水稲の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(7月15日現在)(農林水産省 7月27日付)